



多彩な競技に全力 町内小・中学校で運動会

平泉中学校の運動会が5月17日、長島小学校と平泉小学校の運動会が23日に開かれ、児童・生徒が個人種目や団体種目で競いました。

各校趣向を凝らしたプログラムが生まれ、白熱した競技に父母らから声援が送られていました。

(平泉中) 1_最後まで白熱した「最強リレー」/ 2_これぞ男の団体競技「騎馬戦」/ 3_全力疾走「平中タイフーン2015」/ 4~7_声を枯らしてエールを送ったカラーリーダーたち/ 8_心一つに戦った「ネコパスるんるんツアー!!」/ 9_大技が決まった「組体操」/ 10_女子の本気を見た「綱引き」(長島小) 11_一生懸命走った「低学年全員リレー」/ 12_長島小名物「ミッションインポッシブル2015」/ 13_優しい妖怪のお姉さんたち「ようこそ妖怪ワールドへ」/ 14_走って食べてまた走る「パン食い競争」/ 15~16_この日一番の声援が飛んだ「めざせニンニンジャー！」(平泉小) 17_最後まで激戦を繰り広げた「高学年最強リレー」/ 18_平泉小名物「組体操」/ 19_可愛らしい「開会のことば」/ 20_速さ、力強さ、チームワークが試される「弁慶の力餅リレー」/ 21_バトンの代わりに落としにくい「輪」を使って進んだ「低学年紅白リレー」



桜情景の復活へ 名勝指定を記念し桜まつり開催

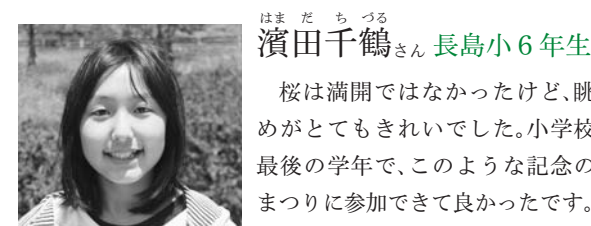
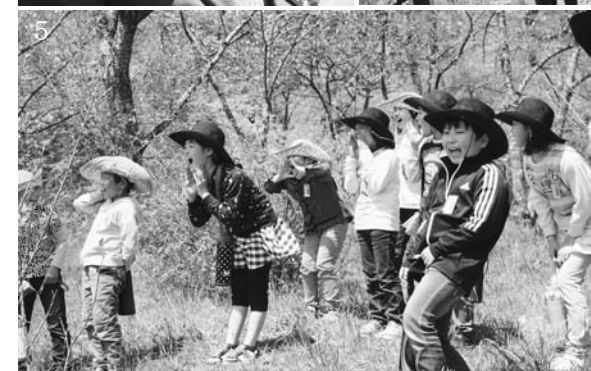
4月25日、西行桜の森・木工芸館「遊鵬」で、国指定名勝「おくのほそ道の風景地—さくら山」の指定を記念した西行桜の森まつりが開催されました。

まつりには国や県、町関係者、地域住民や長島小学校全児童など約200人が参加し、記念植樹や散策、花見などを行い、さくら山が広く親しまれることを願いました。

名勝指定に関わった前文化庁主任文化財調査官の本中眞さんは「地域全体で名勝指定された風景地を守る努力が必要。そしてまちづくりや観光の資源として風景地を生かしてほしい」と話していました。

現在東稲山には約2,000本の桜があり、町内では世界文化遺産にふさわしい桜情景復活に向けて住民組織が活動を展開しています。

1_東稲山の名勝指定を祝う長島小合奏団の演奏/ 2_本中眞さんによる祝辞/ 3_壮大な景色に興奮/ 4_桜情景復活への決意を語る青木町長/ 5_山びこを試す児童たち



はまだちづる
濱田千鶴さん 長島小6年生

桜は満開ではなかったけど、眺めがとてもきれいでした。小学校最後の学年で、このような記念のまつりに参加できて良かったです。



いしかわちなつ
石川千夏さん 長島小5年生

たくさんの人が見ている中での演奏はとても緊張しました。西行桜の森には地区の花見でよく来るので、今後も来てみたいです。